

科学技術イノベーション総合戦略2016 第1章(2)(3)及び第2章に基づく 重きを置くべき施策の特定について

科学技術イノベーション総合戦略2016に基づく 重きを置くべき施策の特定について

- 政府全体の科学技術関係予算の編成において、総合科学技術・イノベーション会議が司令塔機能を発揮し、関係府省の施策の主導、資源の重要な分野や効果の高い施策への重点的な配分を行うため、総合戦略2016に基づく重きを置くべき施策を特定する。
- 具体的には、総合戦略2016における「重きを置くべき取組」の内容に基づき、関係府省からの提案も含めて施策を把握し、必要に応じて各府省と調整した上で、重きを置くべき施策を特定する。
- 内閣府は、総合戦略2016が政府の予算に実効的に反映されるよう、財政当局や各司令塔との連携を図る。
- 特定する過程で得た検討課題などの知見については、総合戦略2017等の検討に繋げる。

第5期科学技術基本計画及び科学技術イノベーション総合戦略に基づく 年間スケジュールのイメージ（素案）

	2016年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2017年 1月	2月	2017年3月 ～2020年
全体スケジュール (予算編成プロセス、CST I 本会議、予算戦略会議等)	予算戦略会議 ○平成29年度科学技術関係予算の概算要求に向けて ○その他	・各府省との調整 ※必要に応じ、予算戦略会議等を開催	次年度予算概算要求	重きを置くべき施策の特定 (CST I 本会議決定)	予算戦略会議(予定) ○次年度予算編成に向けて 科学技術関係予算の概算要求について(CST I 本会議で報告)	平成29年度科学技術関係予算の編成に向けて(CST I 本会議決定)	次年度政府予算案決定	次年度科学技術関係予算案について(CST I 本会議で報告)		総合戦略 (CST I 本会議で答申、閣議決定) 総合戦略2017 ○総合戦略2017骨子、素案、取りまとめ 総合戦略2018 総合戦略2019 総合戦略2020
科学技術イノベーション政策推進専門調査会 (科学技術イノベーション推進の基本的考え方、基盤的な力の強化、イノベーション創出に向けた人材、知、資金の好循環システムの構築等、横断的に取り組む事項に関する専門的な検討)	○2016年度予算の状況 ○2017年度予算の検討状況 ○科学技術イノベーションに関する予算の枠組み ○エビデンスベースの政策の推進等			○第5期基本計画第4章(基盤的な力の強化)及び第5章(イノベーション創出に向けた人材、知、資金の好循環システムの構築)における各テーマの検討		○今後のSTI政策の展開 ○今後の資源配分の在り方 ○指標の体系等	○2017年度予算 ○指標に基づく現状のフォローアップ ○2017、2018年度施策の方向性等			
重要課題専門調査会 (取り組むべき重要な課題として取り上げた事項の達成に向けた推進策の検討(エネルギー、次世代インフラ、新産業、農林水産、環境、地域くらし、システム基盤、ナノテク材料、エネ環戦略))		○各戦略協議会・WGの活動状況		○総合戦略2017に向けた検討体制の構築 ○各戦略協議会・WGの検討計画		○総合戦略2017に向けた検討 ○総合戦略2016のフォローアップ				

概算要求前の科学技術イノベーション総合戦略2016に基づく各府省誘導について（案）

第1章 未来の産業創造と社会変革に向けた 新たな価値創出の取組

新たな経済社会である「Society5.0」（超スマート社会）を実現していくために、11のシステムの連携協調を図り、新たな価値創出を容易とするプラットフォームを構築する。

プラットフォームは、サイバー空間とフィジカル空間の高度な融合を実現するための技術的事項に加え、産業競争力向上のための戦略、制度、人材育成も推進する役割を担う。

プラットフォームの構築に必要な基盤技術の強化や個別システムで新たな価値創出のコアとなる我が国が強みを有する技術を更に強化する。

(2) 新たな経済社会としての「Society5.0」（超スマート社会）を実現するプラットフォーム

1. 新たな価値やサービスの創出の基となるデータベースの構築
2. データ利活用の促進
3. 知的財産戦略と国際標準化の推進
4. 規制・制度改革の推進と社会的受容の醸成
5. 能力開発・人材育成の推進

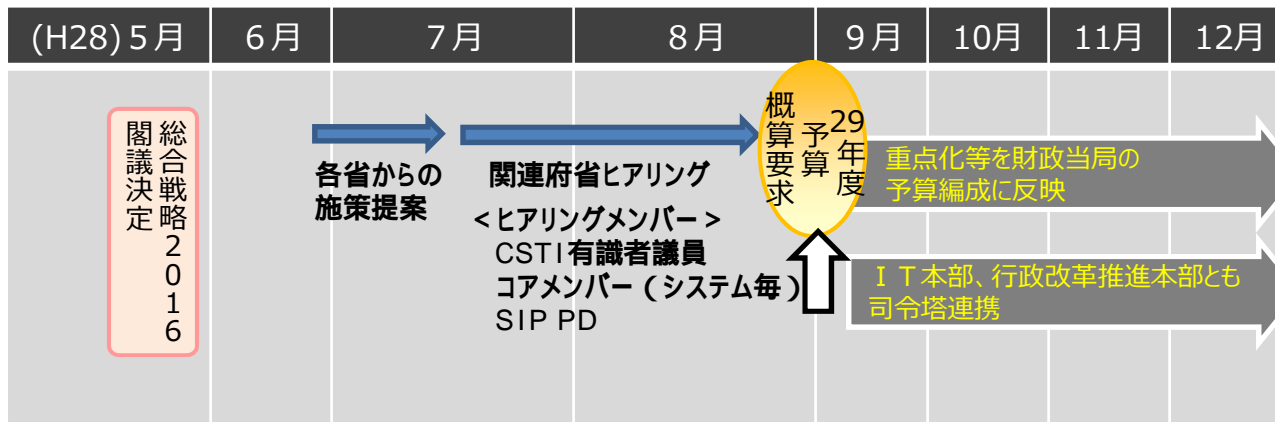
(3) 「Society5.0」（超スマート社会）における基盤技術の強化

1. サイバー空間関連の基盤技術の強化
2. フィジカル空間（現実空間）関連の基盤技術の強化

第2章 経済・社会的課題への対応

「Society5.0」を実現していくために、システムの開発を先行的かつ着実に進め、SIPを含めて研究開発を組み合わせ（システム化）、産業競争力を生み出す価値の連鎖（バリューチェーン）を創出する。社会実装に向け2020年までの成果目標も設定した。

- (1) 持続的な成長と地域社会の自律的な発展
 - I エネルギー、資源、食料の安定的な確保
 - i) エネルギーバリューチェーンの最適化
 - ii) スマート・フードチェーンシステム
 - iii) スマート生産システム
 - II 超高齢化・人口減少社会等に対応する持続可能な社会の実現
 - i) 世界最先端の医療技術の実現による健康長寿社会の形成
 - ii) 高度道路交通システム
 - iii) 健康立国のための地域における人とくらしシステム
 - III ものづくり・コトづくりの競争力向上
 - i) 新たなものづくりシステム
 - ii) 統合型材料開発システム
- (2) 国及び国民の安全・安心の確保と豊かで質の高い生活の実現
 - I 効率的かつ効果的なインフラ維持管理・更新・マネジメントの実現
 - II 自然災害に対する強靱な社会の実現
 - III 国家安全保障上の諸課題への対応
 - IV おもてなしシステム
- (3) 地球規模課題への対応と世界の発展への貢献
地球環境情報プラットフォームの構築
- (4) 国家戦略上重要なフロンティアの開拓



<各省ヒアリングイメージ>



第1章(2)(3)及び第2章における提案募集とヒアリングの目的

各府省庁より提案された施策について、基本的に「科学技術イノベーション総合戦略2016」の第1章に示すプラットフォーム 及び 第2章に示すシステム単位で、ヒアリングを行う。
ヒアリングの目的等は以下の通りである。

1. 総合戦略2016「重きを置くべき取組」の内容に基づき、関係府省からの提案も含めて施策を把握し、必要に応じて各府省と調整した上で、重きを置くべき施策を特定する。
2. 重きを置くべき施策を特定するにあたっては、総合戦略2016第1章(2)(3)及び第2章の「重きを置くべき取組」に該当する施策について、【】内に記載されている全ての関係府省から施策概要等の必要事項を記載した個票の提出を求める。
但し、（SIPを含む）と記載された取組に関してはこの限りではない
また、「社会実装に向けた主な取組」については必ずしも予算施策の個票提出を求めるものではない
また、概算要求される可能性が低い予算施策提案についても個票を提案して頂き、概算要求に乗らなかった場合は「重きを置くべき施策」からの取り下げも可能とする
3. 関係府省の提案をもとにシステムを構成する全ての取組と成果目標との紐づけ、全ての取組と社会実装に向けた主な取組との紐づけについて、内閣府主体で関連表を作成する。

第1章(2)(3)及び第2章における提案募集とヒアリングの目的

4. また、システム化を推進する上では、研究開発から実用化・事業化に至る社会実装までの取組を検討する必要がある。そのため、これらの取組に関する予算を伴わない施策（規制改革等）、及び、科学技術関係経費に登録されていない施策を把握する必要がある。施策提案時にはこれらを含めて御提案頂き、内閣府が作成する関連表に関連施策として反映させる。
5. 関連表に記載された内容を中心に、関係省庁が一堂に会して、有識者によるヒアリングを行う。その際、SIPも含めた研究開発成果を社会実装することで生み出される価値からどう産業競争力を生み出していくのか、官民一体で共通認識を持つとともに、各施策の位置づけや社会実装までの道筋、相乗効果等について、各施策をよりよくするための議論を行い、その成果への貢献度を明確にする。
(ヒアリングメンバー：CSTI議員、SIPプログラムディレクター、各課題における有識者など)
6. SIPが含まれるシステムの場合は、SIPを先導的役割を果たす施策として位置付け、SIPを補完する重きを置くべき施策の提案を求める。SIPが含まれないシステムに関しては、システムに関係する重きを置くべき施策の提案を求める。
7. 特定された重きを置くべき施策については、内閣府は本総合戦略が政府の予算に実効的に反映されるよう、財政当局等との連携を図るとともに、行政事業レビューとの連動を図るため、国費投入の必要性、事業の効率性・有効性について限られた財源の中での重点化や工夫・改善したポイントについて確認することとして、総合科学技術・イノベーション会議が重きを置くべき施策を特定後、その施策について行政改革推進本部事務局へ通知する。

No	日時	時間帯	ヒアリング・グループ および 有識者（仮、下線はリーダー）		
1	7/29 (金)	13:00～ 14:30	スマート・フードチェーン システム スマート生産システム	久間議員 原山議員	<u>野口</u> （PD代理） <u>生源寺</u> （名大） 澁澤（農工大） 篠崎（前川製作所） 井邊（農研機構） 若林（富士通） 吉川（京都府医大） 横田（横田農場）
	4号館・4階 共用特別第2会議室				
2	8/1 (月)	10:00～ 11:30	地球環境情報プラット フォームの構築	久間議員 原山議員	<u>沖</u> （東大） <u>関根</u> （三菱総研） 谷口（富士通） 長谷川（国際環境経済研）
	4号館・4階 共用特別第2会議室				
3	8/1 (月)	15:00～ 17:30	効率的かつ効果的な インフラ維持管理・更新・ マネジメントの実現	久間議員	<u>藤野</u> （PD） <u>岡田</u> （慶大） 高田（鹿島） 田中（三菱電機） 浅間（東大） 西（NEC） 若原（清水建設） 渡辺（小松）
	4号館・11階 共用特別第1会議室				
4	8/2 (火)	13:00～ 17:00	エネルギー バリューチェーンの最適化	久間議員	<u>柏木</u> （東工大） <u>浅野</u> （電中研） 泉井（三菱電機） 大村（三菱重工） 高原（トヨタ） 斎藤（JXリサーチ） 須藤（東芝） 武田（日立） 中山（電源開発） 平井（東工大） 魚崎（NIMS） 田中（JST） 浅沼（産総研） 小川（東大） 内山（筑波大） 村木（PD） 西尾（産総研）
	8/4 (木)	14:00～ 17:00			
6	ともに 4号館・4階 共用特別第4会議室				
5	8/3 (水)	14:00～ 16:00	新たなものづくりシステム	久間議員 内山田議員	<u>安井</u> （三菱電機） <u>西岡</u> （法政大） 佐々木（PD） 高島（JST） 上野（東成エレクトロビーム）
	4号館・2階 共用特別第3会議室				

No	日時	時間帯	ヒアリング・グループ および 有識者（仮、下線はリーダー）		
7	8/8 (月)	16:00～ 18:00	健康立国のための地域に おける人とくらしシステム	久間議員 上山議員	<u>今村</u> （日本医師会） <u>石川</u> （東大） 秋山（Leonessa） 伊藤（京大） 仙石（東工大） 福井（聖路加国際大） 石原（地域医療機能推進機構） 栗山（日本患者会情報センター）
	4号館・4階 共用特別第2会議室				
8	8/9 (火)	09:00～ 11:30	第1章(2)(3)の システム基盤技術関連 (AI, IoT, ビッグデータ) おもてなしシステム	久間議員 上山議員 橋本議員 小谷議員	<u>田中</u> （三菱電機） <u>岩野</u> （JST） 江崎（東大） 松原（はこだて未来大） 佐々木（富士通） 高原（トヨタ） 田中（三菱ケミカル） 桑名（NTT） 紅林（日立ソリューション） 後藤（PD） 手塚（Sub-PD） 野口（PD代理）
	4号館・11階 共用特別第1会議室				
9	8/9 (火)	14:30～ 17:00	高度道路交通システム	久間議員 上山議員	<u>葛巻</u> （PD） <u>有本</u> （政研大） 福島（日産） 杉本（本田技研）
	4号館・12階 共用1214特別会議室				
10	8/10 (水)	09:00～ 12:30	エネルギーバリューチェーン の最適化 統合型材料開発システム 第1章(3)	久間議員 橋本議員 小谷議員	<u>岸</u> （PD） <u>大森</u> （PD） 塚本（昭和電工） 馬場（JST） 香川（Sub-PD） 魚崎（NIMS） 武田（日立） 泉井（三菱電機）
	4号館・11階 共用特別第1会議室				
11	8/10 (水)	13:30～ 17:30	自然災害に対する強靱な 社会の実現	久間議員	<u>林</u> （防災科研） <u>岡田</u> （慶大） 中島（PD） 西（NEC） 渡辺（小松） 田中（三菱電機） 田村（新潟大）
	4号館・4階 共用特別第2会議室				
12	8/22 (月)	13:00～ 17:00	国家安全保障上の諸課 題への対応	久間議員 上山議員 大西議員	<u>角南</u> （政研大） <u>林</u> （防災科研） 田中（三菱電機） 神納（三菱重工） 池山（IHI） 渡辺（小松） 都甲（九大）
	調整中				